聖学院大学総合研究所

人間福祉スーパービジョンセンター

背景と経緯

社会福祉の現場では、日々、さまざまな戸惑いや、失敗、迷い、揺れに直面することは少なくないでしょう。サポートのない中で不安を抱えながら仕事を続ける人や、問題を一人で抱え込み孤立する人、対人援助の中で傷つく人などなど、夢と希望を抱いて就いた社会福祉の現場で、未来を描けなくなっている人は少なくありません。現実において直面する、このような壁は越えられないものでしょうか。答えは「ある」です。ソーシャルワークには、その壁を乗り越え、燃え尽きを防ぐ方法の一つとして、スーパービジョンという支援方法があります。福祉の現場で働いている方々に対し、本学スーパービジョンセンターではスーパービジョンの機会を提供しています。皆様方にこのことをお知らせすると共に、是非ともこの制度をご活用下さいますようにお奨め致します。

スーパービジョンとは

スーパーバイザー（熟練のソーシャルワーカー）がスーパーバイジー（経験の浅いソーシャルワーカー）に対し、その人の能力を最大限に生かしてよりよい実践ができるように責任を持って支援を行うものです。
スーパーバイザーは、問題となっている状況や困っている事例などについてともに考え、不安やとまどいに耳を傾け、背後にある気持ちを受け容れ、有効なアドバイスや視点について示唆を与えます。

人間福祉スーパービジョンセンターでは、福祉の現場で働く方を次のプログラムで支援しています。

【1】　個別スーパービジョン

スーパーバイザーがスーパーバイジーと契約し、個別に応じた課題についてのスーパービジョンを提供する。

【2】　グループスーパービジョン

6 名前後のグループで、お互いの実践現場のかかわりについて事例提供をする。スーパーバイザーとの間でとりきめた方法によって実施する。

【3】　研修交流会（ピア・スーパービジョン）の開催（年２回）

実践現場で必要な知識やかかわりについて見直し、またクライエントとかかわる自己自身の点検を促すなど、日々の業務を見直す機会となるような研修会を開催する。個別スーパービジョンやグループスーパービジョン等に参加することのできない人たちも参加でき、お互いに知り合い、情報交換の機会とする。

【4】　スーパーバイザー支援制度

後輩や実習等においてスーパービジョンを行っているものの自信がないという人は少なくない。スーパービジョンのかかわりについての話し合いを通し、サポートの機会を提供する。

聖学院大学総合研究所 人間福祉スーパービジョンセンター
〒362-8585　上尾市戸崎 1-1　●　URL：https://www.seigresearch.jp/spv/
TEL：048-725-5524　●　e-mail：research@seigakuin-univ.ac.jp